



# かがやき

るるるるるる  
るるるるるる  
るるるるるる  
るるるるるる

鳴鼓小学校  
立津町立鳴鼓小学校  
学校だより 第15号

令和5年2月1日  
文責：校長 今井大輔

## 給食集会

1月20日(金)に給食集会がありました。1月24日〜30日まで「全国学校給食週間」に合わせて行われているものです。

今回もリモート配信による集会で、給食委員会を中心に行われました。以前は、体育館に集合してステージで行っていましたが、最近は、リモートとなったため、ICTを駆使して、これまでになかった工夫を凝らした動画を使用した集会に様変わりしています。今回もクイズや寸劇、調理実習レポートなど、盛りだくさんの内容が短時間に凝縮されていました。

給食で人気のあるメニューランキングや完食賞学級の発表、好き嫌いせずに感謝して食べることを啓発する劇などもあり、笑いと感動の集会でした。



中でも、給食委員会の子供たちが人気メニューのキムタクご飯を実際に調理して、作り方を紹介する企画があり驚かされました。試食させてもらい、大変美味しくいただきました。



試食者はキムタク?

## 感謝を表す

3学期の始業式に子供たちへ話したテーマは「感謝」です。感謝を言葉や行動で表そうと呼びかけています。暑い日や寒い日、雨の日や雪の日も、そして、朝早い薄暗い中でも子供たちの安全を見守ってくださっている「見守り隊」のみなさんがいます。

今、子供たちは、感謝の思いを込めて、「おはようございます。」のあいさつや会釈をしたり、反対車線側にいる方へ手を振ったりすることで感謝の気持ちを表現しています。朝一番でうまく表現できない子もいますが、少しずつ言葉や行動にできるように言葉をかけていきたいと思っています。



上記で紹介した給食週間の取組で給食に携わってくださった方々へ感謝の気持ちを表しました。各学級(一人一人)で、給食センターの方や納品業者の方へお礼の手紙を書きました。どれも心がこもっており、読んでいてあたたかい気持ちになりました。



## 積雪の朝は...



1月25日(水)は、前夜から降り続いた雪で、朝から白銀の世界となりました。登校時は天気がよかったのですが、雪道が白く輝き、子供たちも嬉しそうに歩いていました。安全に登校できるように鳴鼓坂歩道に融雪剤をまいていますが、子供たちは慎重に上っていました。

また、安全確保のために、子供と共に登校してくださった保護者のみなさんありがとうございます。子供たちは、学校へ着くや否や教室を出て、真っ白になっっている運動場で雪合戦やサッカーを楽しんでいました。



気温が低かったため、運動場の雪は、日が差し出した3校時くらいまで残っていました。そのおかげで、入れ代わり立ち代わりなどの学年・学級も雪遊びをすることができ、いい思い出となったようです。

## つぎやき

今シーズン2度目の積雪に子供たちは大喜びであった。しかし、仕事のある大人にとっては、なかなか厄介なものである。職場までどうやっていこうか、雪タイヤやチェーンを装着していても立ち往生に遭わないだろうかなどいろいろと心配事も多くなる。教師の立場から、子供たちは転んだり滑ったりせず、安全に登下校できるだろうかとか考えることも多い。

積雪の日に運動場で雪を丸めている女の子の手にふと目があった。手袋の上に食器洗いの手袋をしていた。「おお、賢いね。」と私が言うと「お母さんがしてくれた。」と答える。私が「お母さん素晴らしいね。」と言うと、その女の子はこっと微笑んだ。次に玄関の所で「冷たい、靴が濡れた。」という男の子がいた。私が「靴下も濡れたんじやない?」と尋ねるとその子は、「替えの靴下をもってきた。」と答えてくれた。

私は常々思っていることがある。雨の日は雨の日の歩き方がある。風が強い日には風に注意した歩き方があると。そして、積雪の時には、転倒しないように靴底がギザギザになっているものを選び、歩幅を小さく、足裏全体を地面に着けて歩くようにする。雪道を歩く経験は、積雪の多い地方に行かなくてはなかなかできるものではない。今回は、時津で一年に一度あるかないかの貴重な機会だった。ぜひ、次回積雪した時は、雪の日の身支度と歩き方の話を家庭でして、外へ出かけさせていたいただきたい。きっと子供たちの意識と経験値が変わり、生きる力が高まると思う。